

緊迫の 21 時間一速報・石巻市での緊急レスキュー

宮城資料ネット事務局の佐藤大介です。6 月 5 日、宮城県石巻市で緊急の被災歴史資料レスキューを実施しました。

今回の活動は、6 月 4 日午後 3 時頃、石巻市教育委員会の佐々木淳さんからの緊急連絡から始まりました。1985 年に古文書を整理した同市の G 家で家屋の解体が始まっており、5 日の出動を依頼されました。G 家では佐々木さんら担当者が駆けつけたところ、母屋で下張り文書は確認出来たが、整理済みの古文書は確認出来ないということでした。それらの搜索と、下張りなど 4 日に確認された史料を搬出するため、5 日の人員派遣を要請されました。

佐藤からは即座に出動する旨回答し、その後佐々木さんと携帯電話で情報交換を継続しつつ準備に取りかかりました。短時間での作業のためには一人でも多くの人員を投入することが必要なことは明らかでしたが、メールで参加を呼びかける時間は全くありません。そこで、平日の作業に参加しているボランティアスタッフらに協力を依頼しました。事務局とあわせて 9 名を確保しました。さらに上記の整理に携わった石巻古文書の会の庄司恵一さんにも一報を入れ、参加いただきました。



ふすまの搬出

翌日午前 8 時 30 分に仙台を出発し、現地に到着したのは午前 10 時。地震で建物が損壊し、危険な状態であることは素人目にも分かりました。佐々木さんからの説明を受けた後、建物の解体が進められる中、母屋の物置部分を重点的に搜索しました。整理済みの文書は約 130 点とのことでしたが、開始 10 分ほどですぐに見つかったダンボール箱には、その半分しか入っていません。史料はどこへ。なお搜索を続け、布団類の中に埋もれた茶箱を発見。開くと古文書が入っていました。その他、江戸時代の古文書が下張りに使われたふすまなどを搬出しました。



古文書入りダンボール箱の確認

現地での作業時間は 45 分。「一日搜索したが発見できず、解体がれきとともに文書は消滅」という事態も



布団に埋もれていた茶箱



茶箱の中には古文書が入っていた

考えられただけに、結果的に短時間でレスキューを完了できたのは幸いなことでした。搬出した史料は石巻市内の保管場所に移送し、すべての作業が終わったのは午後 12 時。第一報から搬入まで、約 21 時間で活動を完了しました。

建物解体に伴うレスキュー対応は全く予断を許さない。そのことを改めて確認した活動となりました。

<事務局・連絡先>

NPO法人 宮城歴史資料保全ネットワーク

980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学川内キャンパス文科系総合研究棟 11F

電話 022-795-7693/7546 080-1666-5919 (携帯)

メール office@miyagi-shiryounet.org ホームページ <http://www.miyagi-shiryounet.org>